

漁業（3単位）

必修

3年海洋科・航海コース

授業の概要	（内容） 今までの日本漁業が果たしてきた役割を学びます。その上で、漁業を取り巻く国際的な環境を学びます。そして日本漁業の貢献に向けて学習します。		到達目標	今、世界の漁業に関する考え方が、大きく変化してきています。今までの日本の漁業が果たした役割を確認した上で、これからの漁業に関して、国際的な視点に立って、資源管理や地球環境の保全について理解を深めます。 また、日本の漁業の将来を見据え、生産性の向上を図る能力を身につけます。
	（形態） 講義			
年間の授業計画	一学期	4	主な漁業技術 乗船実習	<ul style="list-style-type: none"> ・漁具の分類と材料、漁業機械について ・漁具材料作成 ・鮪延縄漁業実習
		5		
		6		
		7		
	二学期	9	漁業と水産生物 漁場 漁業と情報 漁業に関する制度	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業の役割と変遷、漁業と海洋環境について ・漁場の成立条件。資源管理や漁業管理 ・海況と漁況の予測について ・漁業制度と漁船関係法規
		10		
		11		
		12		
	三学期	1	漁業生産の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業をめぐる国際環境について
2				
3				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は講義形式ですが、質問を多く行います。積極的に発言しよう ・校内、校外での見学実習も数回行います。見学実習中の態度には十分気をつけよう。 ・プリントやノートの提出を多く行います。期限を守って、必ず提出しよう。 			
評価方法	ペーパーテスト70%		平常点30%	
	各学期の中間・期末の成績を総合した得点で評価します。 ・各項目について理解できたかどうか基礎的な知識を問う。		<ul style="list-style-type: none"> ・出席状況 ・授業への取組の状況 ・積極的に授業に参加しているか ・ノート提出状況 ・プリント提出状況 ・授業中の発言状況 	
教材	教科書 『漁業』（文部科学省）		アドバイザー	漁業というと、魚を捕るイメージしかわからない人も多いでしょうが、実は魚を捕るだけでも、とても深い知識経験が必要です。漁業のおもしろさを感じてください。国際的な視点での漁業も勉強します。将来の水産業を考える機会にしてください。